

まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース

TOWNS NEWS

▼福島選手を応援する町民らの様子



8月21日、自転車マウンテンバイク男子クロスカンントリーに出場した山本幸平選手のご両親が役場に表敬訪問し、山本選手の写真が入った盾などが贈られました。親はレインボウの山本選手について話してくれました。

健闘たたえる大拍手

8/4・7・10 百年記念ホール

ロンドンオリンピック陸上女子100メートルなどに出場した福島千里選手のパブリックビューイングが開催されました。早朝にもかかわらず延べ260人が声援をおくりました。

結果は、いずれも目標としていた予選突破を果たすことは叶いませでしたが、集まった私たちは、福島選手の健闘をたたえる大きな拍手が鳴り響いていました。

8月21日、自転車マウンテンバイク男子クロスカンントリーに出場した山本幸平選手のご両親

▼ロンドンオリンピックの成績

選 手	種 目	記 録
福島選手	100M	11 秒 41
	200M	24 秒 14
	400M リレー	44 秒 25
山本選手	マウンテンバイク	1 時間 35 分 26 秒 (27 位)

選手は、北京オリンピックの46位から半分近く順位を上げ27位と健闘し、「たくさんの方々を支えられ挑む事ができて、幸せでした」と大会の感想を語っていたそうです。



緑化整備に役立てて

7/23 役場3階応接室

幕別中学校の生徒会は、登校時間に呼びかけをするなどして、生徒たちから募った「緑の募金」3,228円を町に寄付しました。

生徒会長の山田達也さんは「未来に緑を残すため、植樹など有意義に使われてほしい」と話していました。



全国の舞台、決意語る

7/25 役場3階町長室

7月28日から新潟市などで開催される北信越かがやき総体の陸上男子100メートルに出場する高田雄斗さん（江陵高・3年）が岡田町長を訪ねました。高田さんは「自分の走りをして、準決勝に進めるよう頑張ります」と大会に向けて決意を語りました。



理解深める農業体験！

7/27 農業試験ほ場

農業を身近に感じてもらうことを目的に毎年実施している農業体験塾が開催され、レタス200株とカブの種を植えました。

2回目の参加となる今井優希さん（札南小・3年）は「去年よりも上手に植えられた。収穫するのが楽しみです」と話していました。

メリハリある学習を

8/6 札内福祉センターなど

夏休み中、小学生の自主学習を手助けする「学び隊」が札内福祉センターなど町内4会場で開催されました。夏休みの宿題を、退職教員が一人ひとりにじっくりアドバイスしていました。

初参加の神田優真さん（白人小・4年）は「算数をしっかり学びたい」と話していました。



科学の面白さを体験

8/8 集団研修施設こまはた

釧路工業高等専門学校による「ロボット作り体験教室」が行われ、小・中学生10人が真剣な表情でロボット作りに取り組んでいました。

真剣な表情で作成していた久保貴士さん（幕別小・5年）は「細かいパーツの組み立ては難しかったけど楽しめた」と感想を語りました。

自分自身の思いを発表

7/7 十勝総合振興局

少年が社会に向けての意見や未来への希望などを発表する「少年の主張十勝大会」が行われ、赤石みのりさん（忠類中・3年）が最優秀賞に選出されました。赤石さんは、9月7日から札幌市で開催される全道大会へ十勝の代表として出場します。



交流の輪を広げて

7/22 忠類中学校グラウンド

出場する選手の合計年齢が300歳以上となるようチームを編成する「忠類地区300歳ソフトボール大会」が行われ忠類地区、駒畠地区から6チーム110人の選手が参加しました。選手たちは、青空の下ですがすがしい汗を流しました。大会は「駒畠クラブ」が見事優勝に輝きました。

初めての体験いっぱい

7/27～31 忠類地域ほか

今年で38回目を迎えた埼玉県上尾市子ども会交流事業が4泊5日の日程で行われ、7人の子どもたちが幕別町にやってきました。上尾市にも負けないぐらいの暑さが続いた5日間でしたが、子どもたちは、農業体験やカヌー体験など元気いっぱいに過ごし交流を深めました。



浴を感じる忠類の夜

7/28 商工会前駐車場

ちゅうるい夏まつりが開催され、会場ではビンゴゲームや5千円札のヒラヒラキャッチなどの催しのほか、バトントワリングや吹奏楽の演奏などが行われ、盛り上がりを見せました。

毎年恒例のもちまきも行われ、多くの人が楽しい夏の夜を過ごしました。